

「快」適で住み良い東松島 安全の期待に「応」える東松島

交通アクセスに恵まれたまちの特性を生かし、バランスのとれた土地利用計画を定め、生活の利便性を確保する魅力的な都市基盤の整備が進められています。また、災害に強い、安全で安心な「快」適住環境づくりを市民とともに進めています。



●JR仙石線



●国道45号



●三陸自動車道

快適で安全安心な暮らし

東松島市は、JR仙石線・国道45号、三陸自動車道という三本の主要交通線が市内の中央部を走り、仙台と石巻の中間に位置する地域特性から、両都市を結ぶ人と物の交流の結節点としての基盤が整っています。その利便性を活かした住み良いまちづくりのため、国土

利用計画や都市計画マスタープランを策定し、計画的な土地利用を進めています。また、道路・下水道などの都市基盤づくりを進めるとともに、備え、日本大震災クラスの災害に備え、自主防災組織の強化や防災体制の整備を進め快適なまちづくりの実現を目指しています。

安全・安心



災害の際、頼りになるのは、日ごろの準備と地域の支え合い。東日本人震災を教訓として、訓練や自主防災組織の強化など、いざというときに備えを休間づくりが進められています。

(写真は大曲五味畷地区)



●安心して居住できる土地利用
安全で安心して居住できる土地利用を進めるため新たな国土利用計画を策定し、土地の有効利用を計画的に展開していきます。



●東松島市図書館
東松島市図書館は、蔵書14万冊。子どもの読書活動優秀実践図書館として、文部科学大臣から表彰を得るなど、利用率が高く、市民のみならずに親しまれ、活用されています。



●東松島市コミュニティセンター
文化・芸術など、市民に多目的に利用されています。固定席で288席、最大450人が鑑賞できるホールのほか、会議室や研修室、集客室などを備えています。



●蔵しっくパーク
和風の旧家の風情が楽しめる「ひと・まち交流館」と、石づくりの酒蔵を改修したIT施設「ふれ愛情報プラザ」の2つの施設から構成されています。市民のふれあいと、IT拠点としてご利用ください。



●自然を活用した小中学生の体験学習
東松島市では、農業漁業などの地域産業の体験学習を授業に取り入れ、ふるさと学習を深めています。(写真は赤井小学校)

感性豊かな教育と文化

東松島市では、健康でたくましく確かな学力をもった児童生徒の育成に向けて、教育施設の整備はもとより、地域ボランティアによるスクールガード、豊かな自然環境を生かした体験学習など地域ぐるみで教育の環境づくりが行われています。生涯学習については、自ら学ぶ学習環境をつくるため、図書館、市民センターなどの拠点や学習講座を整えるほか、市民が自らの能力や経験を活かし、教えあい学びあうなど学びを活かす機会づくりも進められています。また、市内にある国史跡「里浜貝塚」をはじめとする文化財の保存と活用も展開されています。



●奥松島縄文村
里浜貝塚は、遺物が豊富で地表にも貝殻や土器片が散らばっています。実際の貝塚を見て、触れて、縄文人が生活した景観を体験できます。資料館では、縄文土器や骨角器、石器、装身具などを展示し、縄文人の知恵と生活をわかりやすく紹介しています。また、貝塚への案内や上落づくりなどの体験学習事業も行っています。

「感」性豊かな人のまち東松島

地域ぐるみで、地域の子どもの育てる意識を持ち、健康でたくましい子どもたちの育成を進めます。また、生涯を通じて学習できる機会を提供し、交流と触れあいの中で「感性」を磨くまちづくりを進めています。